



2019年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月15日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
 コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 及川 智正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 松尾 義清 TEL 03-6417-1047
 定時株主総会開催予定日 2019年11月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2019年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年8月期の連結業績（2018年9月1日～2019年8月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期	3,102	34.3	5	—	20	—	4	—
2018年8月期	2,310	39.2	△96	—	△47	—	△29	—

（注）包括利益 2019年8月期 △4百万円（－％） 2018年8月期 △43百万円（－％）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年8月期	0.22	—	0.8	1.4	0.2
2018年8月期	△1.39	—	△4.8	△3.3	△4.2

（参考）持分法投資損益 2019年8月期 △11百万円 2018年8月期 —百万円

（注）1. 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、2018年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期	1,530	596	39.0	28.39
2018年8月期	1,515	668	39.6	28.60

（参考）自己資本 2019年8月期 596百万円 2018年8月期 600百万円

（注）1. 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産については、2018年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年8月期	△212	△30	23	516
2018年8月期	△53	△77	60	808

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2019年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）当社は、株主への利益還元を経営の重要課題と認識しておりますが、配当政策については企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保を図るとともに、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本方針としております。2019年8月期の期末配当金につきましては、当期純利益を計上したものの、内部留保の充実が必要であるものと判断し、無配とさせていただきます。また、2020年8月期の配当につきましても、現時点において未定であります。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

当連結会計期間において、2019年4月30日付で当社の連結子会社である株式会社世界市場ホールディングスが清算終了したことにより、世界市場ホールディングスの子会社である株式会社世界市場は当社の関連会社に該当するため、2020年8月期は個別業績予想のみとなります。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 （連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
 新規 一社（社名）－
 除外 二社（社名）株式会社世界市場ホールディングス、株式会社世界市場

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期	21,005,000株	2018年8月期	21,005,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期	270株	2018年8月期	－株
③ 期中平均株式数	2019年8月期	21,004,802株	2018年8月期	20,990,753株

(注) 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数については、2018年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年8月期の個別業績（2018年9月1日～2019年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期	2,852	32.8	44	－	46	－	22	－
2018年8月期	2,147	33.9	△28	－	△26	－	△21	－

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期	1.06	－
2018年8月期	△1.03	－

(注) 1. 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、2018年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期	1,543	609	39.5	29.00
2018年8月期	1,423	587	41.2	27.96

(参考) 自己資本 2019年8月期 609百万円 2018年8月期 587百万円

(注) 1. 2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産については、2018年8月期の期初に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 2020年8月期の個別業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	12.2	60	34.6	60	30.2	35	57.7	1.67

(注) 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の堅調な回復や雇用・所得環境の改善が続く一方、米中間の貿易摩擦を背景に中国での経済成長の減速や貿易縮小など、世界経済の下振れリスクと日本経済への影響も懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である食品業界においては、昨夏以降の大型台風や記録的な酷暑などの相次ぐ自然災害による影響により、農産物の供給に影響を及ぼし、激しい相場変動により厳しい経営環境が続いたものの、生活者の健康志向の上昇を背景に、食の安心・安全に関する意識は引き続き高い状況にあります。

このような環境の下、当社グループは、2018年10月に日本郵政キャピタル株式会社と資本提携を行いました。本提携によって、同社が属している日本郵政グループの郵便局ネットワークを活用して、当社の「農家の直売所」プラットフォームを全国の生産者に利用していただくこと、並びに、当社サービスを補完し登録生産者の利便性を高めることが可能となり、当社の流通総額が更に拡大するものと考えております。また、生産者からの更なる集荷拡大を狙い、袋詰め等の加工作業を受託するため、当社の物流拠点である大田センター近くに加工センターを開設するとともに、自社開発したアプリケーション「農直-のうちよく-」を通じた農業資材販売サイトの開設や外食向けECサービス「彩直」を開始するなど、既存ビジネスを拡充させながらも、新たな収益獲得に向けて取組んでまいりました。さらに、日本航空株式会社と新千歳空港及び旭川空港に空港集荷場を開設し、朝どれトウモロコシを首都圏で当日販売するなど、新たな農産物流通を構築してまいりました。

このような取組みにより、当社の重要な経営指標である「農家の直売所」事業による流通総額は9,614,709千円(前年同期比9.5%増)、2019年8月末日時点で国内スーパーマーケット等の小売店への導入店舗数は1,416店舗(前連結会計年度末より231店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は92拠点(前連結会計年度末より6拠点増)、登録生産者は8,605名(前連結会計年度末より760名増)まで拡大いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は3,102,497千円(前連結会計年度比34.3%増)、営業利益は5,268千円(前連結会計年度は営業損失96,360千円)、経常利益は20,670千円(前連結会計年度は経常損失47,286千円)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,608千円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失29,119千円)となりました。

なお、当社の事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,066千円増加し、1,363,335千円となりました。これは主に現金及び預金が291,195千円減少したものの、売掛金が331,718千円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ9,445千円増加し、167,049千円となりました。これは主に無形固定資産が6,624千円減少したものの、投資その他の資産が15,775千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ62,521千円増加し、794,332千円となりました。これは主に買掛金が18,172千円、未払金が22,930千円及び未払法人税等が18,093千円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ23,812千円増加し、139,800千円となりました。これは主に長期借入金が23,940千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ71,821千円減少し、596,250千円となりました。これは主に非支配株主持分が67,236千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ291,195千円減少し、当連結会計年度末には516,826千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は212,889千円(前年同期は53,547千円の支出)となりました。これは主に、仕入債務の増加18,966千円及び未払金の増加38,308千円があったものの、売上債権の増加338,968千円及び法人税等の支払額8,905千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は30,454千円(前年同期は77,032千円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出28,318千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は23,555千円(前年同期は60,009千円の収入)となりました。これは、長期借入れによる収入100,000千円が長期借入金の返済による支出75,408千円を上回ったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期
自己資本比率(%)	44.4	39.6	39.0
時価ベースの自己資本比率(%)	901.9	621.9	883.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.6	△2.8	△0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	71.3	△57.7	△204.8

(注) 1. 各指標はいずれも財務数値を用いて、以下の計算式より算出しております。

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている営業活動によるキャッシュ・フロー、支払利息を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社の主たる事業である農家の直売所事業は、食の安心・安全への生活者の意識の高まりもあり、次期も引き続き高い成長が続くと見込んでおります。今期に増加した導入店舗や登録生産者が通年で寄与すること、当社が構築したスーパー等との物流網を活用した販売形態を更に強化し、流通総額の拡大を図ってまいります。

次期は、中長期的な流通総額の拡大を見据えた体制基盤の確立を目指し、今期実施した生産者とスーパー等を繋ぐ物流プラットフォームを活用することで更なる収益基盤の拡大を図ります。また、想定を超えた相場変動は、当社の業績に影響を及ぼすことを課題として認識したため、これらを解決する施策を実施していく予定であります。

以上により、2020年8月期の業績見通しにつきましては、売上高3,200,000千円(前年同期比12.2%増)、営業利益60,000千円(前年同期比34.6%増)、経常利益60,000千円(前年同期比30.2%)、当期純利益35,000千円(前年同期比57.7%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	808,022	516,826
売掛金	496,351	828,070
その他	57,046	22,301
貸倒引当金	△3,152	△3,863
流動資産合計	1,358,268	1,363,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,847	33,286
減価償却累計額	△5,265	△6,802
建物及び構築物 (純額)	28,582	26,484
車両運搬具	6,579	5,587
減価償却累計額	△6,579	△5,587
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	3,222	3,173
減価償却累計額	△1,498	△1,487
工具、器具及び備品 (純額)	1,723	1,686
その他	-	3,169
減価償却累計額	-	△739
その他 (純額)	-	2,429
有形固定資産合計	30,305	30,600
無形固定資産		
のれん	2,953	-
ソフトウェア	73,510	69,838
無形固定資産合計	76,463	69,838
投資その他の資産		
投資有価証券	6,820	28,868
繰延税金資産	17,739	18,615
その他	26,274	19,126
投資その他の資産合計	50,833	66,609
固定資産合計	157,603	167,049
資産合計	1,515,871	1,530,384

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	502,904	521,076
1年内返済予定の長期借入金	43,882	44,534
未払金	121,380	144,311
未払法人税等	6,211	24,305
賞与引当金	26,756	20,720
その他	30,676	39,384
流動負債合計	731,810	794,332
固定負債		
長期借入金	104,156	128,096
その他	11,832	11,704
固定負債合計	115,988	139,800
負債合計	847,799	934,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,296	212,296
資本剰余金	240,526	240,526
利益剰余金	148,079	143,670
自己株式	-	△242
株主資本合計	600,901	596,250
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△66	-
その他の包括利益累計額合計	△66	-
非支配株主持分	67,236	-
純資産合計	668,072	596,250
負債純資産合計	1,515,871	1,530,384

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
売上高	2,310,275	3,102,497
売上原価	637,382	1,136,697
売上総利益	1,672,892	1,965,800
販売費及び一般管理費	1,769,252	1,960,531
営業利益又は営業損失(△)	△96,360	5,268
営業外収益		
受取利息	11	9
受取賃貸料	1,773	2,093
受取保険料	4,733	7,145
補助金収入	43,787	20,933
助成金収入	2,738	400
その他	206	964
営業外収益合計	53,249	31,546
営業外費用		
支払利息	900	1,037
賃貸費用	1,505	1,505
為替差損	1,059	1,663
株式交付費	541	-
その他	169	-
持分法による投資損失	-	11,937
営業外費用合計	4,176	16,143
経常利益又は経常損失(△)	△47,286	20,670
特別利益		
固定資産売却益	4	-
特別利益合計	4	-
特別損失		
災害による損失	-	2,244
特別損失合計	-	2,244
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△47,281	18,426
法人税、住民税及び事業税	8,538	23,794
法人税等調整額	△12,768	△772
法人税等合計	△4,229	23,021
当期純損失(△)	△43,052	△4,595
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△13,932	△9,203
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△29,119	4,608

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
当期純損失(△)	△43,052	△4,595
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△230	207
その他の包括利益合計	△230	207
包括利益	△43,282	△4,387
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△29,192	4,674
非支配株主に係る包括利益	△14,089	△9,062

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	199,216	227,446	177,198	603,861
当期変動額				
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△29,119	△29,119
新株の発行	13,080	13,080		26,160
自己株式の取得				
連結範囲の変動				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	13,080	13,080	△29,119	△2,959
当期末残高	212,296	240,526	148,079	600,901

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	22	22	81,311	685,195
当期変動額				
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△29,119
新株の発行				26,160
自己株式の取得				
連結範囲の変動				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△88	△88	△14,074	△14,163
当期変動額合計	△88	△88	△14,074	△17,122
当期末残高	△66	△66	67,236	668,072

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	212,296	240,526	148,079		600,901
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			4,608		4,608
新株の発行					
自己株式の取得				△242	△242
連結範囲の変動			△9,016		△9,016
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△4,408	△242	△4,651
当期末残高	212,296	240,526	143,670	△242	596,250

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△66	△66	67,236	668,072
当期変動額				
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				4,608
新株の発行				
自己株式の取得				△242
連結範囲の変動				△9,016
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	66	66	△67,236	△67,170
当期変動額合計	66	66	△67,236	△71,821
当期末残高	-	-	-	596,250

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△47,281	18,426
減価償却費	18,308	19,299
のれん償却額	984	656
株式報酬費用	6,235	8,719
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△310	773
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,180	△6,035
受取利息	△11	△29
支払利息	900	1,037
持分法による投資損益(△は益)	-	11,937
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△60
為替差損益(△は益)	1,216	206
売上債権の増減額(△は増加)	△94,168	△338,968
仕入債務の増減額(△は減少)	89,901	18,966
未払金の増減額(△は減少)	31,204	38,308
その他	△32,456	4,145
小計	△5,303	△222,618
利息の受取額	11	29
利息の支払額	△928	△1,039
法人税等の支払額	△47,326	△8,905
法人税等の還付額	-	19,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,547	△212,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,155	△1,060
無形固定資産の取得による支出	△59,527	△28,318
敷金及び保証金の差入による支出	△285	△1,259
敷金及び保証金の回収による収入	715	123
その他	△6,779	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,032	△30,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△39,991	△75,408
自己株式の取得による支出	-	△242
その他	-	△794
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,009	23,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,447	△47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72,018	△219,836
現金及び現金同等物の期首残高	880,040	808,022
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△71,359
現金及び現金同等物の期末残高	808,022	516,826

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンリテール株式会社	330,171	農家の直売所事業
株式会社阪急オアシス	270,700	農家の直売所事業

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンリテール株式会社	396,932	農家の直売所事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
1株当たり純資産額	28.60円	28.39円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△1.39円	0.22円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当会計連結年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2019年3月1日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△29,119	4,608
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△29,119	4,608
普通株式の期中平均株式数(株)	20,990,753	21,004,802

(重要な後発事象)

該当事項はありません。